

1 単元名 サッカー

2 運動の特性

一般的特性

攻守が入り交じり、主に足を使ってパスやドリブルをし、ボールを運びシュートし合い、得点を競い合っている運動である。

～子どもから見た特性 省略～

3 視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、子どもたちが学習意欲や目標をもって取り組めるよう道すじを工夫する。

<手立て>


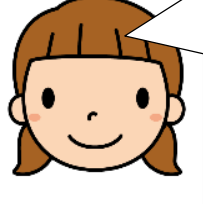

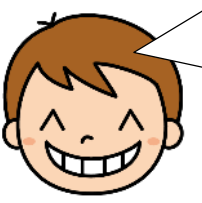
○ボールに親しむ運動

サッカーは、足でボールを操作する難しさがある運動であり、子どもたちの技能には差がある。そこで、単元を通して学習の始めに「ボールに親しむ運動」の時間を設け、チーム内で協力しながらボールを蹴ったり、止めたり、ボールをもらうために動いたりすることに慣れさせていきたい。

ボールに親しむ運動	身に付けてほしい動き
<input type="checkbox"/> シュートゲーム	○ゴールに向けてボールを蹴る。
<input type="checkbox"/> 三角パス	○味方に向けてボールを蹴る。 ○ボールを蹴ったら空いている場所へすばやく動く。 ○ボールをもらう。止める。
<input type="checkbox"/> 5対1でパス回し（とりかご） ・全員にボールを回す意識をもつ。	○ボールがもらえる場所に動き、ボールをもらう。 ○空いている味方にボールを蹴る。 ○相手をかかわしてボールをもらったり、味方に向けて蹴ったりする。

○チームの時間

子どもたちは、「友達ともっと励まし合える自分になりたい」「みんなが満足できるように活躍できる自分になりたい」など、友達同士のかかわりを大切にして、みんなと協力しながら学習をしたいと願っている。そこで、友達と話し合ったり練習したりするチームの時間を設定する。

ねらい①のチームの時間のイメージ	ねらい②のチームの時間のイメージ
<p>チームの時間（話し合い 2分）</p>  <p>「ノーマークなら声を出そう！」 「相手の近くにいちやだめだよ！」 「ゴールに向かってすぐ走ろう！」</p>	<p>チームの時間（話し合い 2分）</p>  <p>「シュートする人が増えてきたから、ボールを持ったらどんどんねらおう！」 「〇〇さんがボールを持ったらすぐ走ろうね！」</p>
<p>ゲーム 前半（5分）</p>	<p>ゲーム 前半（5分）</p>
<p>チームの時間（振り返り・後半にむけて 2分）</p>  <p>「マークされてパスを出せないから、動いてパスをもらってね。」 「ボールをとられたら、すぐ戻ろう！」</p>	<p>チームの時間（振り返り・後半にむけて 2分）</p>  <p>「なんで作戦がうまくいかなかったのかな。」 「ボールをもらう動きをみんなで練習してみようか。」</p>
<p>ゲーム 後半（5分）</p>	<p>ゲーム 後半（5分）</p>

ねらい①のチームの時間は「個人の動きをチーム内で教え合い、共有する時間」とし、ねらい②のチームの時間は、「ねらい①で学んだよりよい動きを生かして、チームとしてどのように攻めるかを考える時間」とする。「どう動けばよいのだろう」「何をアドバイスすればよいのだろう」と、話し合いが進まないチームに関しては、教師が助言をし、話し合いがスムーズに行えるようにする。作戦は子どもたちに自由に考えさせ、チームの特徴に合っているものを取り上げて称賛していく。

視点2 一人一人のよさを伸ばす学習を進めるための手立てを工夫する。

<手立て>

○よりよい動きを共有するための工夫

「よりよい動きは、みんなに広めていこう。」を合言葉にして学習を進めていく。ゲームの中で「蹴る」「止める」「ボールをもらうために動く」ことができるようになるために、以下の工夫をする。

- ①ゲームの中で見つけた子どもたちのよりよい動きを、全体で紹介すること
- ②教師が、子どもたちが見つけたよりよい動きを整理して掲示物に記入していくこと
- ③ゲームを観る視点を与えること

子どもたちがよりよい動きを広げていくために、友達のよい動きを見つけたり、励ましたり、アドバイスし合ったりして高め合える学習を大切にしていきたい。

○ルールへの工夫

本学級の子供たちは技能の差が大きく、ボールの扱いや動き方に慣れていない子にとっては、ゲームがつまらないものになりかねない。誰もがサッカーの楽しさや喜びを味わえるように、どの子もボールに触れる機会が多く、シュートを決めることができるようなルールで学習をスタートする。

<はじめのルール>	※学習を進めていく中で、子どもたちの様相を見て修正していく。
○プレイヤーの数	・4人 VS 4人 の少人数制
○コート大きさ	・25m×15m (3面)
○プレーの制限	・オフサイド、キープはなし
○用具	・ミニサッカーゴールを倒して使用
○時間	・1試合10分(前後半5分ずつ) ※合間にチームの時間あり。
○得点	・ファーストゴール → 3点 ※2本目以降は1点 (ゴールを決めたら帽子を赤にする。)
	・チームワーク得点 → 前後半を通じて、チームの6人全員が得点したら10点追加
○その他	・セルフジャッジ ・ファールがあった場合は、その場所からの間接フリーキック ・外に出た場合はキックイン

得点のルールは、自分の最初の得点(ファーストゴール)は3点とし、2本目以降の得点は1点とする。また、前後半を通じて、チームの6人全員がゴールを決めた場合、さらに10点を追加するものとする。これらの得点のルールを設けることで、苦手な友達にもパスを回そうとする意識を高め、得意な子だけが活躍することがないようにしたい。チーム全員でパスを回したりシュートをしたりする機会が増え、全員で楽しくゲームができるだろう。

○今日のヒーロー

授業の最後に、チームの中の「今日のヒーロー」を決める。単元の始めの頃には、ゲームで活躍した友達だけでなく、良い意見を出していた友達や応援していた友達などを見つけて称賛し合うことで、温かい雰囲気の中で学習を進められるようにする。学習が進む中で、チームの作戦に対する貢献度や試合中の動きのアドバイス、動きについても目を向けられるように声をかけていきたい。

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

○仲間と協力し、ルールやマナーを守って意欲的に学習に取り組むことができる。

【関心・意欲・態度】

○自分に合っためあてをもち、よい動きを考えたり、チームの特徴に合った作戦を立てたりすることができる。

【思考・判断】

○ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防することができる。

【技能】

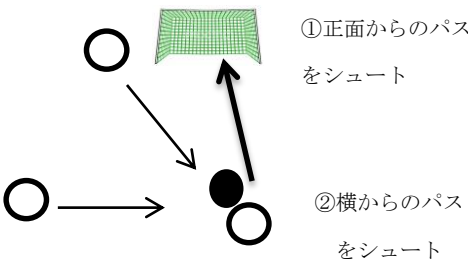
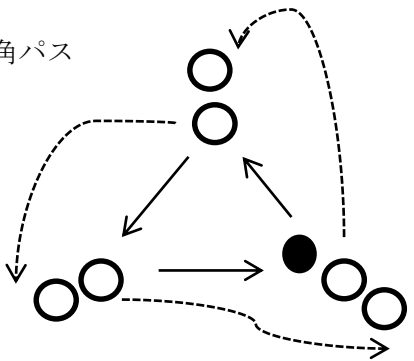
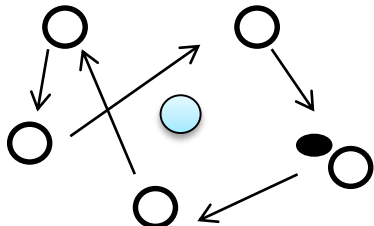
(2) 学習の道すじと評価

	1	2	3	4 (本時)	5	6	7	8
0	オリエンテーション ・学習のねらいとルール ・マナー ・準備、片付けの仕方 ・学習カード ・試しのゲーム	準備運動・ボールに親しむ運動			準備運動・ボールに親しむ運動			
45		ねらい① よりよい動きを見つけながら、ゲームを楽しむ。 【リーグ戦①】 ○第1ゲーム チームの時間—前半—チームの時間—後半 ○全体で動きの共有 ○第2ゲーム チームの時間—前半—チームの時間—後半 ○振り返り			ねらい② 自分のチームの特徴に合った作戦を立てて、ゲームを楽しむ。 【リーグ戦②】 ○第1ゲーム チームの時間—前半—チームの時間—後半 ○全体で動きの共有 ○第2ゲーム チームの時間—前半—チームの時間—後半 ○振り返り			
関	○	○			○			
思			○			○	○	
技				○				○

5 評価規準 (おおむね満足できる状況)

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
○集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、サッカーのゲームに進んで取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ○友達と協力して、準備や片付けをしようとしている。 ○運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。	○ゲームのルールを知り、自分の力に合っためあてを立てている。 ○よい動きに気付き、自分の動きに生かしている。 ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。	○ボールを持っているときに、ドリブルやパス、シュートをすることができる。 ○ボールを持っていないときに、ボールがもらえる場所に動くことができる。 ○ボールを持っている人とゴールの間に体を入れて、相手の得点を防ぐことができる。

6 学習活動と支援（本時4／8）

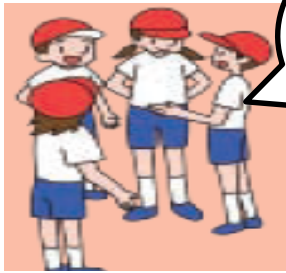
<p>はじめ</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや道すじを知り、学習の進め方についての見通しをもつ。 ○ルールやマナーについて話し合う。 ○組み合わせや時間、場所など、ゲームの行い方について理解する。 ○場づくりや片付け、用具について理解する。 ○学習カード（めあての立て方、振り返りの仕方）の使い方を理解する。 ○全体でボールに親しむ運動を行う。 	
<p>なか ①</p>	<p style="text-align: center;">学習内容と活動</p> <p>1 チーム毎に用具を準備し、学習の場づくりを行う。</p> <p>2 チーム毎に準備運動をし、ボールに親しむ運動を行う。</p> <p>○ボールに親しむ運動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートゲーム <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・三角パス <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・5対1のパス回し（とりかご） <div style="text-align: center;">  </div>	<p style="text-align: center;">教師の支援と評価（◇評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と協力して準備をするよう声をかける。 ◇友達と協力して、準備や片付けをしようとしている。 【関心・意欲・態度】 ◇運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 ○素早く準備を終え、全員がボールに触って練習ができるように助言する。 ○足首など、よく使う部位は念入りにストレッチを行うよう声をかける。 ○ボールを蹴ったり受けたりする時には、声を出したり合図を送ったりするよう指導する。 ○ボールを蹴る時には、軸足を蹴りたい方向に向け、しっかりねらって蹴るように助言する。 ○ボールをもらうために、どこに動けばよいかを考えさせ、場合によっては教師も一緒に動きながら声をかける。

なか①	<p>3 全体で、本時のめあてと学習の進め方を確認する。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ねらい① よりよい動きを見つけながら、ゲームを楽しむ。 【リーグ戦①】</p> </div> <p>○学習カードをもとに、本時のめあてを確認する。 【予想されるめあての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペースに走ってパスをもらう。 ・チームの友だち全員にパスをする。 ・シュートコースがあれば、どんどんシュートを打つ。 <p>○全体でルールやマナーの確認をする。</p> <p>4 第1ゲームを行う。</p> <p>○総当たり戦のゲームをする。</p>	<p>○めあてを立てるのが難しい子どもには、学習カード「めあての立て方のイメージ」を参考にさせる。</p> <p>◇ゲームのルールを知り、自分の力に合っためあてを立てている。 【思考・判断】</p> <p>○前時までに全体で確認してきたことを、掲示物を見ながら確認させる。</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><はじめのルール> ※学習を進めていく中で、子どもたちの様相を見て修正していく。</p> <p>○プレイヤーの数 ・4人 VS 4人の少人数制</p> <p>○コート大きさ ・25m×15m (3面)</p> <p>○プレーの制限 ・オフサイド、キーパーはなし</p> <p>○用具 ・ミニサッカーゴールを倒して使用</p> <p>○時間 ・1試合10分(前後半5分ずつ) ※合間にチームの時間あり。</p> <p>○得点 ・ファーストゴール → 3点 ※2本目以降は1点 (ゴールを決めたら帽子を赤にする。)</p> <p>・チームワーク得点 → 前後半を通じて、チームの6人全員が得点したら10点追加</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフジャッジ ・ファールがあった場合は、その場所からの間接フリーキック ・外に出た場合はキックイン </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><ゲーム></p> <p>チームの時間 2分</p> <p>ゲーム前半 5分</p> <p>チームの時間 2分</p> <p>ゲーム後半 5分</p> </div>	<p>○はじめとおわりのあいさつは、元気よくあいさつをし、全員と握手をするよう声をかける。</p> <p>○ゲームの中のよい動きを積極的に取り上げて称賛する。</p> <p>○動きにとまどっている子には、具体的に動く方向を指示する。</p> <p>○よりよい動きを探したり教えたりするよう声をかける。</p> <p>◇集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、サッカーのゲームに進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】</p>	

○チームの時間の活動を行う。

【予想される話し合いの例】

- ・空いているスペースに走ってパスをもらおう。
- ・近くの味方にはしっかり通るパスを出そう。
- ・ボールをもらう動き方がよかったね。
- ・後半は、ボールに集まらないようにしよう。
- ・相手のボールとゴールの間に体を入れよう。



次はもっと
スペースに
動こう！

5 全体で動きの共有をする。

○ゲーム内でよかった動きを教師が取り上げ、全体に紹介する。

6 第2ゲームを行う。

※第1ゲームと同様に行う。

7 学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。

○よかったところや課題をまとめる。

○学習カードに自己評価を行う。

○マナーや技能などの課題について取り上げ、共通理解をする。

○今日のヒーローを発表する。

○本時の課題が次時のめあてになることを確認する。

8 後片付けをして、整理運動をする。

○みんなで協力して後片付けをする。

◇ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。【関心・意欲・態度】

◇よい動きに気づき、自分の動きに生かしている。

【思考・判断】

◇ボールを持っているときに、ドリブルやパス、シュートをすることができる。【技能】

【話し合いの視点】

- ・ボールを持ったときはどうすればよいか
- ・ボールを持たないときはどうすればよいか

○各チームをまわり、課題をもっているチームには解決策を助言していく。

【つまずきと声かけの例】

- ・ボールに集まりすぎてしまう
→「空いているスペースにパスを出そう」
「そのボールを取る（守る）のに何人必要かな？」
- ・パスが繋がらない
→「落ち着いてボールを蹴ろう」
「ボールをしっかり止めてから蹴ろう」
- ・シュートが決まらない、打てない
→「シュートチャンスで声かけしよう」
「相手が守りに来る前に蹴ろう」

○チーム全体や個人のよかった動きの場面を全体の場で例示させ、称賛する。

○よかった動きは次のゲームに生かすよう声をかける。

○全体で共通理解したいことができている子に発言させる。

○苦手意識のある子を取り上げ、自信がもてるように紹介をする。

○友達と協力して片付けるよう声をかける。

◇友達と協力して、準備や片付けをしようとしている。【関心・意欲・態度】

	<p>1 チーム毎に用具を準備し、学習の場づくりを行う。</p> <p>2 チーム毎に準備運動をし、ボールに親しむ運動を行う。</p> <p>○ボールに親しむ運動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートゲーム ・三角パス ・4対2のパス回し（とりかご） <p>3 全体で、本時のめあてと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○友達と協力して準備をするよう声をかける。</p> <p>○慣れてきたら、パスのスピードを上げるように助言する。</p> <p>○パス回しに慣れてきたら、相手をかかわしてからパスを回すよう声をかける。</p>										
<p>なか②</p>	<p>ねらい② 自分のチームの特徴に合った作戦を立てて、ゲームを楽しむ。 【リーグ戦②】</p> <p>○学習カードをもとにチームの作戦を立て、本時のめあてを確認する。</p> <p>【予想される作戦の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持ったら、どんどんシュートを打てよう！ ・Aさんは足が速いから、味方がボールを持ったら前に走ろう！ ・みんなでパスをつないで攻めよう！ <p>○全体でルールやマナーの確認をする。</p> <p>4 第1ゲームを行う。</p> <p>○総当たり戦のゲームをする。</p> <table border="1" data-bbox="244 1458 582 1697"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">＜ゲーム＞</td> </tr> <tr> <td>チームの時間</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>ゲーム前半</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>チームの時間</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>ゲーム後半</td> <td>5分</td> </tr> </table> <p>○チームの時間の活動を行う。</p> <p>【予想される話し合いの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんはドリブルがうまい。○○さんがボールを持ったらゴール前に走ろう！ ・作戦がうまくいかなかった。もっとボールを止める技術が必要だから、練習しよう。 ・パスを出したらすぐに動くようにしよう。 	＜ゲーム＞		チームの時間	2分	ゲーム前半	5分	チームの時間	2分	ゲーム後半	5分	<p>○よい動きや作戦の例を載せた掲示物を参考にさせ、めあてを立てさせる。</p> <p>○自分のチームの特徴をもとに作戦を立てるよう助言する。</p> <p>○チームの作戦を成功させるために、どのように動けばよいかを考えるよう助言する。</p> <p>◇チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断】</p> <p>○チームの意識を大切にしてプレーするよう声をかける。</p> <p>○動きにとまどっている子には、具体的に動く方向を指示したり、自分も一緒に動いたりする。</p> <p>◇ボールを持っていないときに、ボールがもらえる場所に動くことができる。 【技能】</p> <p>◇ボールを持っている人とゴールの間に体を入れて、相手の得点を防ぐことができる。 【技能】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【話し合いの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとして、どういう意識で攻めるか ・自分のチームの特徴に合った作戦は、どのようなものか ・作戦を成功させるためには、どう動けばよいか </div>
	＜ゲーム＞											
チームの時間	2分											
ゲーム前半	5分											
チームの時間	2分											
ゲーム後半	5分											

<p>なか②</p>	<div data-bbox="207 179 718 672" data-label="Image"> </div> <p>5 全体で動きの共有をする。 ○ゲーム内でよかった動きや成功した作戦を教師が取り上げ、全体に紹介する。</p> <p>6 第2ゲームを行う。 ※第1ゲームと同様に行う。</p> <p>7 学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。 ○よかったところや課題をまとめる。 ○学習カードに自己評価を行う。 ○マナーや技能などの課題について取り上げ、共通理解をする。 ○今日のヒーローを発表する。 ○本時の課題が次時のめあてになることを確認する。</p> <p>8 後片付けをして、整理運動をする。 ○みんなで協力して後片付けをする。</p>	<div data-bbox="869 179 1492 649" data-label="Text" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【つまずきと声かけの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方から出されたボールを、そのまま動かないで取ろうとしてパスカットされる →「どこに動けばパスが受けれるかな」 →「パスは自分でもらいに行こう」 ・ボールの持ちすぎで、空いている味方にパスができない →「空いている味方を見つけたら、すぐにボールを蹴ろう」 ・失点が多い →「ボールを持った相手とゴールの間に体を入れよう」 </div> <p>○チーム全体や個人のよかったところを紹介し、全体の場で称賛する。 ○作戦が機能していたチームを取り上げ、なぜ成功したかを考えさせる。</p> <p>○全体で共通理解したいことができていた子に発言させる。 ○苦手意識のある子を取り上げ、自信がもてるように紹介をする。</p> <p>○友達と協力して片付けるよう声をかける。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習を振り返り、まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して、ルールやマナーを守って意欲的にサッカーを楽しむことができたか。 ・よい動きに気付き、自分の動きに生かすことができたか。 ・チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に合った作戦を立てることができたか。 ・ボールを持っているときに、ドリブルやパス、シュートをすることができたか。 ・ボールを持っていないときに、ボールがもらえる場所に動くことができたか。 ・ボールを持っている人とゴールの間に体を入れて、相手の得点を防ぐことができたか。 	